

門真市健全な財政に関する条例

～概要版～

困難を乗り越え成長していくための投資

「まちの成長」と「財政の健全化」の両立

安定的な基盤に根ざした健全な財政運営

門真市は、経済情勢の変動や急激な人口減少等により、
厳しい財政状況に直面しています。

これを乗り越えるには、様々な課題を解決していくために、
積極的な投資を行い、まちを成長させていかなければなりません。

また、近年、めまぐるしく変化する行政需要や
地震・台風等の災害などに適切に対応していくためには、
より柔軟で弾力的な財政基盤を構築し、
健全な財政運営を行っていく必要があります。

本条例の目的は、
この「まちの成長」と「財政の健全化」を両立していくために、
どこまでなら投資ができるか、
どのようなことを守らないといけないのかといった、
財政運営のルールを明確にすることです。

本条例では、次の5つの基本原則を定め
財政運営の5本柱としています。

《財政運営の5本柱》

①市民ニーズに応える

- 財政状況や社会情勢を踏まえ市民ニーズの把握と実現に努める

②計画的に財政運営を行う

- 財政収支見通しを作成し関係資料とともに公表
- これらを参考とし予算編成方針を決定

③市民と情報を共有する

- 財政に関する資料を分かりやすく公表し透明性を確保
- 統一的な基準による地方公会計に係る財務書類等の作成と公表
- 使用料等、補助金等の基準の作成と公表

④災害等の緊急事態に備える

- 緊急事態に対応するために必要な額を定め、確保に努める
- 有事の際には迅速かつ機動的に対応

⑤財政健全化の手段を担保する

- 歳入の確保と歳出の合理化
- 不透明な資金運用の禁止
- 不健全な財政状況に陥った場合に、健全化の措置を講じる